

ついこの前まで一枚の葉もつけてなかった木が、いつの間にか深緑の葉でいっぱいになっていました。

幼稚園の新年度にあわせるようにツバメが巣づくりを始め、今現在（5月11日）は卵を温めているようです。実は、この一文を書くために、ネットで調べたのでした。今のツバメの状態は、どんな状態なのかと。

「ツバメの子育て」で調べたら、「意外と知らない？ ツバメの1年」というのがあり、読んでみたら、それこそ知らなかったことがいっぱいあり、私としてはとても勉強になったので、せっかくですので、紹介します。一部略で。

少しずつ暖かくなり、ツバメの姿を見かけるようになってきました。ツバメはいわゆる「渡り鳥」です。春になると日本にやってきて子育てをし、秋になると日本を離れます。

ツバメは夏の時期を日本で過ごす「夏鳥」といわれる渡り鳥です。

春になると、フィリピンやベトナム、インドネシアなど遠く南の方からはるばる日本へとやってきます。これは、距離にしておよそ2,000km～5,000kmにもなります。

くわしいことは分かっていませんが、ツバメは太陽の位置を目印にして方角を把握していると考えられていて、道に迷う心配もありません。

東南アジアから海を越えてやってきたツバメは、沖縄を経て、3月ごろ九州に姿を見せます。そして、暖かくなるのにもなって北上し、各地で子育てを行います。

ツバメは、人家や納屋など、かならず屋根のある人工物に巣をつくり、あえて人のいる場所に巣づくりをするのは、外敵から身を守るためだと考えられています。人の存在によって外敵を遠ざけるというのは、なかなかの知恵者ではないでしょうか。

親鳥は、泥やワラ枯れた草を口にくわえて運びこみ、それを粘着性のある唾液で固めて巣をつくらせていきます。これらの材料は、田んぼや水辺で容易に手に入るものです。

ツバメは新しく巣をつくることもあれば、空いている巣を直して使うこともあります。前の年に子育てに使った巣と同じ巣に戻ってきて、そこでまた子育てを行う親鳥もいます。

一度の子育てで、ツバメは5個前後産卵します。卵はおもに雌の親鳥があたため、産卵から孵化（ふか）まではおよそ2週間です。孵化から巣立ちまでは3週間ほど、ひなはたくさんの餌を食べてどんどん大きくなります。

ツバメの餌はウンカやハエ、ガ、アブなどの小さな虫です。ひなは1日あたり1羽で100匹以上の虫を食べるといふ報告もあります。給餌は雌雄の親鳥が協力して行いますが、親鳥はかなり大変そうです。

子育てが終わると、巣立ったひな鳥と子育てを終えた親鳥は、巣を離れて集団となって過ごします。その規模は数千羽から数万羽。水辺のヨシ原などにねぐらをつくり、たくさんの餌を食べて渡りに備えるのです。

そして、秋が近づき、9月～10月になると、ツバメたちは日本を離れます。九州、沖縄を経て海を越え、南方へと渡っていきます。そこで冬を過ごし、次の春、再び日本にやってくるのです。

以上、毎年見ているツバメに関するお話でした。毎年見ているツバメについてさえ、知らなかったことがけっこうあったということは、身近なところで、身近なもの、身近なことについても、まだまだあるのではと思ったのでした。「知る」ということ、「新たな発見」は、楽しいということ、おもしろいということを確認したのでした。子ども達とともに、共有していきたいと思ったのでした。



次は、カブトムシに関するお話です。去年本園で飼っていたカブトムシが卵を産み、その卵がこの冬を無事過ごし、立派な幼虫になっていたのです。

木、ツバメ、カブトムシと書いてきましたが、いずれも、「生命の継続、命のリレー」だったことに気づきました。「生命の継続、命のリレー」は、やはり、感動させられるものがあると再確認した次第です。

当初は、本号は、カブトムシまでで終わりの予定だったのですが、肝心の「子ども達」や「人」が全然出てきませんでしたので、2ページにすることにしました。

当初は4月号に載せようと思っていたのですが、載せるスペースがあっという間になくなっていましたので、遅ればせながらではありますが、4月になったの私の心の中でのつぶやきを紹介します。

“4月になったら”

4月になったら

去年までいたお友達がなくなって

去年までおにいちちゃん、おねえちゃんと一緒に来ていたお友達が一人で来るようになって一人で来ていたお友達が、おとうとやいもうとと一緒に来るようになって

去年までいなかったお友達が来るようになって

去年まであいさつできなかったお友達があいさつをするようになって

去年まで年少さんのお友達は年中さんとして下駄箱やお部屋を利用するようになって

去年まで年中さんのお友達は年長さんになって幼稚園のトップに立って

慣れるまでは、なんか、へんなきもちなのです。

慣れるまでは、少しとまどうのです。

当たり前のことなのですが。



さて、今現在は、5月18日です。本号を書き始めてから1週間が経ちました。上の行までは、5月11日だけで書いたものではありません。その後、少しずつ書けるときに書いてきました。

今現在は、5月25日です。保育参観が始まり2日目です。昨日も今日も保育参観での保護者の皆さまのわが子を見つめる熱い熱い視線に、人数制限、30分の時間限定、廊下からの参観、私語厳禁等、様々な制限のご協力をお願いしましたが、無事開催できてよかったと思っています。また、参観後、「こういう状況の中ですが、開催していただき感謝しています」と声をかけられ、開催してよかったと再び思ったのです。



【PTA 新旧役員会】



【PTA 役員全体会】



【保育参観】



【がんばれー！】



【なにかな？】



【うまい！】